地域の様子

道北に位置している名寄市は、東西を山地に囲まれた盆地であり、中央を天塩川と名寄川に囲まれた位置にある。農業を中心とした産業と交通の要地として栄え、特に、「雪質日本一」とした酷寒朔北の地を基盤に、風連町との合併を経て新名寄市として飛躍しようとしている。

中名寄小学校は市街地より南東約８㎞の地にあり、国道239号線沿いの名寄川と並行して点在する田園地帯で豊かな自然環境に恵まれた学校である。

校舎改築直後の昭和63年から「はだしの学校」として生き生きと心身の健康づくりに励むとともに、児童は居間に集う家族のように和やかな気持ちで学習に取り組んでいる。

今年度は開校120周年を迎え、７月にはタイムカプセルの開封と埋設を行う。校区全戸がＰＴＡ会員となり学校教育に大変協力的である。また、保護者は学校の教育活動に積極的に協力している。さらに、特認校として、市中心部からバス通学による児童を迎えている。

令和６年４月１日現在

児童及び学級数

学年	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	3	2 (1)	1	7 (1)
女	2	1	0	0	1	0	4
計	2	1	1	3	3 (1)	1	11 (1)
学級	1		1		1 (1)		3 (1)

※（　）は特別支援学級の内数

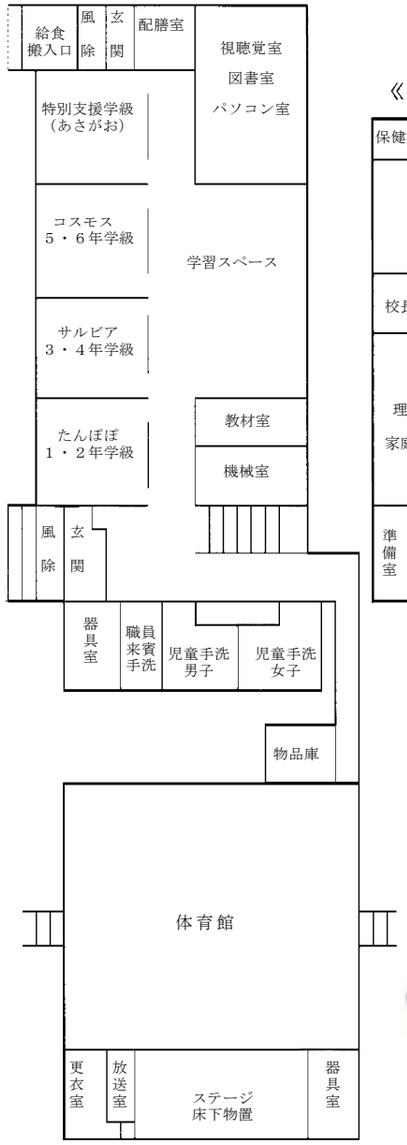
令和６年４月１日現在

教　職　員

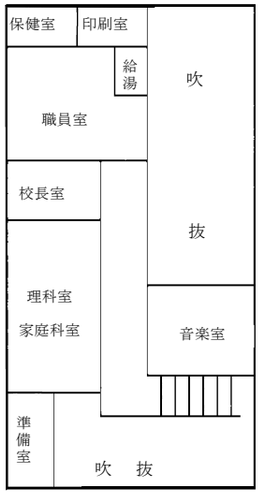
職　名	氏　名	担　当	本校着任
校　長	松　本　敏　朗		令和　5年4月
教　頭	久保田　正　樹	特別支援学級	令和　6年4月
教　諭	辻　村　和　也	５・６年	令和　3年4月
教　諭	坂　部　あゆみ	１・２年	令和　2年4月
教　諭	松　本　祐　輔	３・４年	令和　3年4月
養護教諭	佐　藤　かおり		令和　4年4月
事務職員	佐々木　政　光		令和　4年10月
学校技師	小　原　茂　則		令和　6年4月

校舎平面図

《　１階　》



《　２階　》



令和５年度の様子

令和６年度

なかなよろ

学校要覧

令和６年４月１日

新たなる1世紀　開校１２０年目

「新時代のふるさと　わたしたちの母校」

校歌

作詞　坂本　亮
作曲　津田　甫

一
緑の丘のめぐり立つ
広田を通り風光る
村の子ぼくたちわたしたち
日ごとつどえる学びやに
育つよ育つ手をくんで

二
せせらぎ清く流れ来て
雲影うつす名寄川
村の子ぼくたちわたしたち
日ごと明るき学びやに
伸びるよ伸びる一すじに

三
そびえて高きにれの木に
輝く歴史仰ぎつつ
村の子ぼくたちわたしたち
日ごといそしむ学びやに
進むよ進む肩くんで

名寄市立中名寄小学校

北海道名寄市字日彰２８５番地　電話 01654-2-3889

1　本年度の学校経営

2　研究主題

主体的に学び、進んで表現できる子の育成

～必要感と目的意識をもてるICTを活用した授業づくりを通して～

3　本年度の指導の重点

子どものよさを伸長し、自立と相互理解を促す指導

（１）主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導
（２）豊かな心を育む道徳教育
（３）個と集団のよさを実感する特別活動
（４）地域の特色や今日的課題を踏まえた総合的な学習の時間
（５）自己をよりよく導く生徒指導
（６）一人一人のニーズに応じた特別支援教育
（７）よりよい生き方を目指すキャリア教育
（８）外国語によるコミュニケーション能力を育む国際理解教育
（９）情報活用能力を育む情報教育
（10）生命を尊び、自ら心身を鍛える健康教育
（11）地域の特質を生かしたへき地・複式教育

4　通学区域外就学制度（特認校）

名寄市では、「豊かな自然環境」に恵まれた郊外の小規模校において、基幹産業を活用した特色ある学習活動を体得し、より豊かな心とたくましい身体を育てたい」という希望がある場合において、一定の条件の下での通学区域外就学を認めてます。中名寄小は、平成11年度から指定を受けています。

令和６年度現在、11名が通学区域外から通学してきています。

5　登下校とバス（特認通学）

※名士バス下川線（時刻変更可能性有り）

（１）登　校

主要停留所	市役所経由	徳田経由
市立病院前	７：２５	７：５０
西３条南６丁目	７：２７	７：５２
名寄駅前	７：３２	７：５７
東病院前	７：３６	―
南丘団地前	―	８：０１
中名寄５線	７：４１	８：０６

（２）下　校

主要停留所	徳田経由	市役所経由	徳田経由
中名寄５線	１３：４４	１５：１４	１６：１４
南丘団地前	１３：４９	―	１６：１９
東病院前	―	１５：２１	―
名寄駅前	１３：５７	１５：２７	１６：２７
西３条南６丁目	１４：００	１５：３０	１６：３０
市立病院前	１４：０３	１５：３３	１６：３３

※特別日課５時間授業の時は、「徳田経由13:44」のバスで下校します。
※事情により、給食ありの３時間授業で下校する時は、「徳田経由12:09」のバスで下校します。
※下校時刻は、６時間目の終了14:45となります。
※放課後の活動があった場合、「市役所経由16:14」のバスがあります。

中名寄小学校の沿革

明治	37. 7	・上名寄五線簡易教育所として教育を開始 新築（現在地）15坪
	43. 5	・上名寄五線尋常小学校と改称
大正	6.10	・改築（教室及び廊下　30坪）
	9. 4	・中名寄尋常小学校と改称
昭和	6. 8	・総改築（教室2、廊下、住宅、便所　82坪）
	16. 4	・日彰国民学校と改称
	22. 4	・名寄町立日彰小学校と改称
	22. 5	・中名寄中学校開設
	24. 5	・増築（教室2、廊下　59坪）
	24. 9	・名寄町立中名寄小学校と改称
	28. 9	・開校50周年記念式典挙行、校歌制定、中名寄小・中学校体育館新築
	31. 4	・名寄市立中名寄小学校と改称
	38.11	・開校60周年記念式典挙行
	46. 6	・旧中学校（5月改築）へ移転
	47. 4	・旧小学校取り壊し
	58. 9	・開校80周年記念式典挙行
	58.10	・東部集落センター完成
	62. 7	・中名寄小学校解体（一部を残し授業をする）
	62.12	・新校舎へ移転　　授業開始
	63.11	・体育館新築完成
	63.12	・中名寄小学校改築落成式・祝賀会
平成	2. 5	・屋外物置完成　・排水工事完了
	2. 7	・グラウンド整備完了
	2.11	・全日本健康優良学校北海道代表受賞
	3.10	・上川管内教育実践学校指定
	4.10	・上川管内実践学校研究発表会
	5. 4	・虫歯予防推進指定校
	6. 7	・東屋「ぬくもり亭」完成・石庭完成
	6. 8	・石庭周辺垣根（いたどり利用）完成
	8. 4	・道福祉協議会ボランティア推進指定校（3ヵ年）
	8.11	・第41回「ソニー基金」努力校に入選
	9. 1	・北海道教弘研究助成論文「学校部門」に特選
	9. 5	・名寄市教育研究実践学校指定
	10. 5	・学校田の造成
	10.12	・名寄市教育研究実践学校指定実践発表会
	11.12	・教育実践研究発表会
	12. 9	・屋外ゲートボール場造成
	13.11	・教育実践発表会（学習指導・国語科）
	14. 8	・名寄市・藤島町交流団として全校児童が3泊4日で藤島町訪問
	15. 7	・教育実践研究発表会（国際理解教育）
	15. 9	・全道国際理解教育研究大会（上川・旭川大会）において実践発表
	16. 6	・簡易パークゴルフ場造成
	16. 8	・開校100周年記念式典・祝賀会
	17. 4	・通学区域外就学児童3名入学（特認）
	17.10	・上川北部地区へき地・複式教育研究会
	18. 4	・通学区域外就学児童1名入学（特認）
	18.11	・教育実践研究発表会
	19. 4	・通学区域外就学児童5名入学（特認）
	19.11	・教育実践研究発表会
	20. 4	・通学区域外就学児童4名入学（特認）、特別支援学級新設
	20.11	・教育実践研究発表会　　・「風の子」石庭命名看板設置
	21. 4	・通学区域外就学児童3名入学
	21.10	・学校園　サクラ植樹
	22. 7	・駐車場全面簡易舗装
	23. 4	・通学区域外就学児童1名入学　2名転入
	23.10	・サクラ植樹5本　「はだしの学校」看板リニューアル
	24. 4	・通学区域外就学児童5名入学
	24.11	・教育実践研究発表会　　・佐藤愛子選手柔道着等寄贈
	25.12	・教育実践研究発表会
	26. 2	・コンピュータ室パソコン更新
	27.10	・名寄市へき地・複式教育研究大会　教育実践研究発表会
	28. 4	・通学区域外就学児童3名入学　1名転入
	29. 4	・通学区域外就学児童3名入学　1名転入
	30. 4	・通学区域外就学児童1名入学
	31. 4	・通学区域外就学児童1名入学
令和	1. 9	・荒井建設株式会社地域貢献活動　パークゴルフ場整備
	3. 3	・タブレット（Chromebook）23台導入
	3. 4	・通学区域外就学児童２名入学
	4. 4	・通学区域外就学児童２名入学
	4. 7	・外遊具（ジャングルジム、雲梯など）寄贈
	5. 4	・通学区域外就学児童２名入学、転入１名
	6. 4	・通学区域外就学児童１名入学